市長と語ろう！ほっとおしゃべり会@乾側公民館　結果概要

日　時　令和８年１０月９日（金）午後２時～３時
場　所　乾側公民館
参加者　市民　３名

結果概要
１　あいさつ（市長）

２　趣旨説明（事務局）

３　災害時の避難行動と新たな気象情報について説明（市長）

４　意見交換（フリートーク）
①大雨時の学童保育の送迎について
参加者：8月の大雨では、旧乾側小学校のプールの近くまで水が来ていた。線状降水帯が発生すると、長時間の大雨になることもある。現在、公民館で学童保育を実施しているが、浸水した場合、子どもや迎えに来る保護者の安全が心配である。新しい公民館は平屋で、上の階への避難もできない。学童保育の実施場所や、災害時の対応を考えておいた方がよい。
市長：災害時に学童保育をどのように運営するか、危機管理体制を考える必要がある。赤根川や日詰川からの浸水も想定されるため、雨の状況や避難の時間的な余裕を踏まえ、子どもの安全を確保できるよう判断する。事前に大雨が予想される場合は、早めの帰宅を一斉メールで連絡する。増水時は保護者に無理な迎えを求めず、安全が確保されてから引き渡すことが現実的だと考える。
参加者：子どもの安全を守るため、早めの避難や保護者（祖父母含む）への連絡をお願いしたい。
市長：子どもと保護者の人数は把握しており、速やかに連絡できる規模だと考えている。

②公共交通について
参加者：運転免許を返納したところ、移動が不便になった。バスは2時間に1本程度で、まちなか循環バスもこの地域までは来ない。タクシーも土日はないと言われた。移動に苦労している。まちなか循環バスは、この地域まで運行しているのか。
市長：乗り合いタクシーは、各集落センターなどを乗降場所として運行しており、一律300 円で乗車できる。利用には予約が必要である。

③赤根川の水質について

参加者：赤根川の水を農業に利用しているが、水量が少ない時期にはリンの値が通常の２倍程度になる。合併処理浄化槽からの排水が影響している可能性があるのではないか。キャベツを育てるのに赤根川の水を使用したら枯れてしまったと聞いた。絶滅危惧種の魚（ミナミアカヒレタビラ）も生息する川なので、水質を調べてほしい。

市長：河川の水質は年間を通じて検査しており、全体として悪い数値にはなっていないと認識している。一方、農作物が枯れたという話には驚いている。

参加者：自分が育てている白菜も枯れてしまった。育苗に向いてない。ほかの農業者は、地下水を使って育て直したと聞いた。

市長：リンなどによる富栄養化なのか、化学物質によるものなのか、原因によって対応は異なる。河川の水質検査は比較的高い頻度で実施している。水道水は水道法に基づいて検査し、飲用に適した水質を確保している。地下水についても観測井などで水質を調べている。

④おでかけほっとサロンについて

参加者：おでかけほっとサロンは、ぜひ続けてほしい。今年の４月から６月まで実施されておらず、利用者が少ないと事業がなくなるのではないかと心配している。以前はフレアール和泉、うらら館、パークホテルなどへ行き、落語を聞いたとこもあった。

市長：さまざまな施設への外出や、食事、会話、運動は健康長寿につながる。人気のある事業なだけに、参加者が減っていることは残念である。他地区と合同で実施する方法であれば、継続できる可能性もあると思う。

⑤スポーツ振興等について

参加者：大野市が健康長寿を目指すためにも、スポーツをもっと推進してほしい。県民スポーツ祭へ多くの市民が多くの種目に参加できるようになるといいと思い、自身も卓球競技で参加者を募った。実業団や社会人のチームづくりも考えてはどうか。大人が競技に取り組む姿は、子どもたちの目標にもなる。福井ブローウィンズなどを応援する推し活といった文化が広まれば地域の活性化にもなる。また、部活動の練習場所や指導者を確保し、子どもが競技を続けられる環境を整えてほしい。企業による施設の提供なども期待したい。

市長：市では、健康とスポーツを結び付けた取り組みを進めている。歩くことやラジオ体操は、介護予防や認知症予防にもつながる。健康長寿を目指すうえで、スポーツは重要である。

中学校の部活動については、教員の働き方改革や子どもの減少を踏まえ、地域で活動する形への移行を進めている。地域のクラブチームや個人の指導者による指導も想定し、資格を持つ指導者の確保に向けた補助を行っている。近年は全国大会に出場する子どもも増えており、今後の活躍に期待している。

参加者：県大会で大野市の選手が優勝すると誇らしく感じる。子どもたちが練習できる場所を確保するため、企業が施設を提供するなどの協力もあるとよい。市外のチームも含め、スポーツを応援する人が増えれば、地域の活性化にもつながると思う。子どもたちには目標を持って競技に取り組んでほしい。

市長：福井国体の際には、応援に出かけた。福井ユナイテッドは市内のサッカーチームへの指導を行っており、福井ブローウィンズとも協定を結んでいる。こうしたチームとの連携や応援を通じて、スポーツへの関心を高めていくことも大切である。

5　閉会